

みずほCustomer Desk Report 2024/01/04 号 (As of 2024/01/03)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	142.17	1.0942	155.54	1.2630	0.6767
SYD-NY High	143.73	1.0965	156.78	1.2676	0.6771
SYD-NY Low	141.87	1.0893	155.35	1.2616	0.6703
NY 5:00 PM	143.30	1.0919	156.46	1.2662	0.6731
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,430.19	▲ 284.85	日本2年債	-	-
NASDAQ	14,592.21	▲ 173.73	日本10年債	-	-
S&P	4,704.81	▲ 38.02	米国2年債	4.3316%	0.0084%
日経平均	-	-	米国5年債	3.9038%	▲0.0174%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.9180%	▲0.0217%
シカゴ日経先物	33,105.00	50.00	独10年債	2.0155%	▲0.0500%
ロンドンFT	7,682.33	▲ 39.19	英10年債	3.6385%	0.0005%
DAX	16,538.39	▲ 230.97	豪10年債	4.0510%	0.0300%
ハンセン指数	16,646.41	▲ 142.14	USDJPY 1M Vol	10.90%	0.08%
上海総合	2,967.25	4.97	USDJPY 3M Vol	10.22%	0.04%
NY金	2,042.80	▲ 30.60	USDJPY 6M Vol	9.91%	0.02%
WTI	72.70	2.32	USDJPY 1M 25RR	▲1.27%	Yen Call Over
CRB指数	265.25	2.62	EURJPY 3M Vol	10.02%	0.08%
ドルインデックス	102.49	0.29	EURJPY 6M Vol	9.93%	0.10%

アジア	アジア時間のドル円は142.17レベルでオープン。引き続き東京休日で市場参加者も少ない中、閑散としたマーケット。オープン直後から小幅に下落すると、軟調なアジア株を横目に上値の重さが意識される展開となった。一方で先物の米金利が底堅く推移していたことがサポートとなり、下値も限定的。方向感なく値幅30銭前後の狭いレンジ内で上下した後、142.07レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、142.07レベルでオープン。米10年債利回りの上昇を背景にしたドル買いや、クロス円の上昇を伴って142.99まで底堅く推移し、結局142.95レベルでNYに渡った。米債券利回りの上昇を嫌気してか、欧州株は全面安となった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台後半でスタート。中東情勢緊迫化に伴ったリスク回避のドル買いや、米金利上昇を横目に、じり高での推移が続き、142.95レベルでNYオープン。朝方はバーキン・リッチモンド連銀総裁の「追加利上げの可能性はまだ選択肢にある」との発言に買いで反応し、143.40近辺まで上昇。その後は米金利低下が重しとなり、142.82まで反落する場面もあったが、続いて発表された米12月ISM製造業景況指数ヘッドラインが予想を上回った事を受け、再び買いが優勢となり、143.73まで上昇。午後は米12月FOMC議事録が発表され、「金利は想定よりも長くピーク水準維持する可能性がある」とタカ派的な見方が示された一方、「政策金利はピークもしくはその近辺」との認識も示された。その後、米金利は低下で反応し、ドル円も143.20近辺まで反落。終盤は、次第に小動きとなり、143.30レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。1.0965まで値を戻すも、その後米金利上昇や、欧州株式市場の軟調な展開が下押し要因となり、1.0917レベルでNYオープン。午前中は先述の強い米12月ISM製造業景況指数の結果を受け、ドル買い地合を背景に、1.0899まで下落。午後は米金利低下が支援材料となり、1.0920近辺まで小幅反発し、1.0919レベルでクローズ。

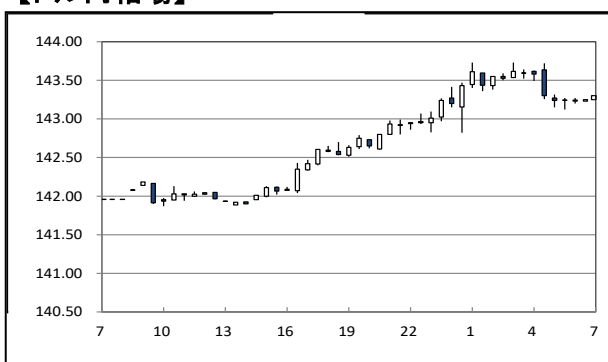
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月28日	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	11月 -0.2%	-0.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	23-Dec 218K	210K
12月29日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	11月 0.0%	0.9%
12月31日	10:30	中 製造業/非製造業PMI	12月 49.0/50.4	49.6/50.5
1月2日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	12月 50.8	50.3
1月4日	00:00	米 ISM製造業景況指数	12月 47.4	47.1

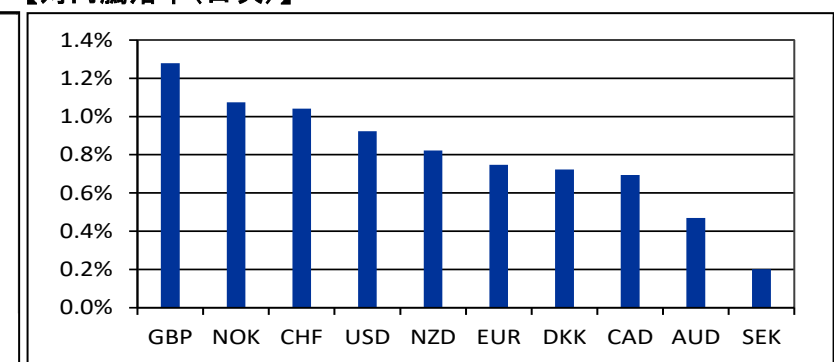
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月4日	10:45	中 Caixin中国PMIコンポジット	12月 -	51.6
	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業	12月 51.6	51.5
	18:00	欧 サービス業PMI・確報	12月 48.1	48.1
	18:00	欧 コンポジットPMI・確報	12月 47.0	47.0
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 0.2%/3.7%	-0.4%/3.2%
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 125K	103K
	22:30	米 新規失業保険申請件数	30-Dec 216K	218K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.30-143.80	1.0880-1.1000	155.50-157.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル/円は一日通して大幅なドル高円安となった。アジア時間は市場参加者が少ない中、終始142円を挟んだ値動き。NY時間に入り、米金利上昇を背景にしたドル高から143.73まで上昇。その後、米FOMC議事要旨が発表されると2024年における利下げ開始時期について、市場見通しとの乖離が見られる内容となったが、ドル/円は若干押し戻されて143.15でクローズ。
本日は本邦勢が祝日明けとなり一定程度の取引活性化が見込まれるが、本格的に事業法人が市場に戻ってくるのは来週の9日以降が想定される。引き続きフロードリブンの展開を想定され、143円台を挟んだ方向感のない値動きが継続か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 部坂・西